



ローデ・シュワルツが、5G FR2 RRMスタンドアロン・モードのコンFORMANCE・テストケースでGCFの初めての承認を取得

ローデ・シュワルツのR&S TS8980FTA-M1 5GコンFORMANCE・テスト・システムが試験プラットフォーム認証基準 (test platform approval criteria: TPAC) を満たす最初の製品として承認されたことで、Global Certification Forum (GCF) による無線リソース管理 (RRM) コンFORMANCEの最新Work Item (WI) が“Active (有効)” のステータスとなりました。これには、5Gミリ波帯域の組み合わせにおいて、1つおよび2つの到来角 (1 x AoAと2 x AoA) の両方に対するスタンドアロン・モード (SA) でのRRM FR2テストケースによる検証が含まれています。



キャプション：R&S TS8980FTA-M1ミリ波コンFORMANCE・テスト・システムには、複数の到来角 (Multi-AoA) に対応できるR&S ATS1800M電波暗室を採用して、モバイル向けRRM 5G FR2コンFORMANCE・テストを最も広範にサポートしています。

ローデ・シュワルツは、最新の5G New Radio (NR) デバイスの無線リソース管理 (RRM) 性能の検証に関して、Global Certification Forum (GCF) の試験承認を取得した初めての企業となりました。この承認は、特に複数の到着角に対応できる能力を備え、FR2の5G NRスタンドアロン (SA) モードで動作するデバイスに適用されます。今回の承認により、デバイス・メーカーはそれぞれの製品について、実際の5Gコア・ネットワーク (5GC) と5G SAでミリ波周波数帯を使用して動作するモバイル・ネットワークとのグローバルな互換性を検証できるようになりました。

固定無線アクセス (FWA) アプリケーションのための無線5Gルーターや顧客構内設備 (customer premises equipment: CPE) が注目を集めるようになり、その性能を左右するRRMテストケース準拠の検証がますます重要視されるようになってきました。これらのテストケースは、特に障害物のある場所やセルエッジといった難しいネットワーク条件下で、信頼性の高いエンドユーザー・エクスペリエンスを確保するのに欠かせません。

GCFが2025年1月21～23日にバンコクで開催したConformance Agreement Group (CAG) #81ミーティングにおいて、現在、ローデ・シュワルツは5G FR2 RRMに義務付けられるテスト要件をすべて満たした認証ソリューションを提供する唯一のプロバイダであり、さらに同周波数帯域のRFとRRMの両方で検証済みテストケースを最も多くサポートしていることが確認されました。ローデ・シュワルツの5Gミリ波テスト・プラットフォームは、最新の5G FR2ノン・スタンドアロン (NSA) およびSAのテストケースに幅広く対応しています。同プラットフォームは、CMX500 5Gネットワーク・エミュレータをベースとして、R&S ATS1800Mシリーズの電波暗室や高性能な被試験デバイス (DUT) ポジショナなどで構成されています。

ローデ・シュワルツでデバイス認証を統括するシニア・ディレクターのThomas Eyringは、今回のマイルストーンについて次のように述べています。「モバイル機器テストのパイオニアとして、コンFORMANCE・テストの強化に向けて大きな一歩を踏み出したことに大変満足しています。当社の技術は、FR2周波数帯の難しい課題に対処しながら、5Gデバイスの品質と信頼性を保証していくうえで、きっと皆様のお役に立つものと思います。さらに、6Gネットワークで重要な役割を果たすと見込まれるFR3周波数帯のテストケースにもしっかり取り組んでいます」。

ローデ・シュワルツのコンFORMANCE・テスト用システムについて詳しく

は、<https://www.rohde-schwarz.com/63493-8181.html>をご覧ください。

www.rohde-schwarz.com

お問い合わせ：

欧州（本社）：Christian Mokry（電話：+49 89 4129 13052、email：press@rohde-schwarz.com）

北米：Dominique Lutkus（電話：+1 503 523-7951、email：Dominique.Lutkus@rsa.rohde-schwarz.com）

アジア太平洋地域：Sze Ming Ng（電話：+603 5569 0011、email：press.apac@rohde-schwarz.com）

ローデ・シュワルツについて

ローデ・シュワルツは、電子計測、技術システム、ネットワークおよびサイバーセキュリティの各部門を通じ、より安全に“つながる”社会の実現に向けて努力を重ねています。グローバルな技術指向のグループとして、90年にわたって先端技術の開発を続け技術の限界を押し広げてきました。当社の最新製品やソリューションは、産業界や規制当局および行政機関のお客様がデジタル技術の主権を得るためのお力添えをしています。ドイツ・ミュンヘンを拠点としたプライベートな独立企業であり、長期的かつ持続的な経営を行える体制を構築しています。ローデ・シュワルツは、2023/2024会計年度（昨年7月から本年6月まで）には29.3億ユーロの純収益を上げました。また、2024年6月30日現在、ローデ・シュワルツでは約14,400名の従業員が全世界で活躍しています。

R&S®は、Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG. の登録商標です。

すべてのプレスリリースは、画像のダウンロードを含め、<http://www.press.rohde-schwarz.com>からインターネットでご提供しています。

東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル27階

〒160-0023

関野 敏正

電話番号：+81 3 5925 1270/1290

Toshimasa.Sekino@rohde-schwarz.com

www.rohde-schwarz.com/jp